

DOCKET NO.: 278875US3PCT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Kunio SHIBANO

SERIAL NO.: NEW U.S. PCT APPLICATION

FILED: HEREWITH

INTERNATIONAL APPLICATION NO.: PCT/JP04/03536

INTERNATIONAL FILING DATE: March 17, 2004

FOR: PACKAGE OF GOODS ATTACHED WITH IMAGE FOR FORMING THREE-DIMENSION IMAGE

REQUEST FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119
AND THE INTERNATIONAL CONVENTION

Commissioner for Patents
Alexandria, Virginia 22313

Sir:

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicant claims as priority:


COUNTRY
Japan

APPLICATION NO
2003-092284

DAY/MONTH/YEAR
28 March 2003

Certified copies of the corresponding Convention application(s) were submitted to the International Bureau in PCT Application No. PCT/JP04/03536. Receipt of the certified copy(s) by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.

Respectfully submitted,
OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



C Irvin McClelland
Attorney of Record
Registration No. 21,124
Surinder Sachar
Registration No. 34,423

Customer Number

22850

(703) 413-3000
Fax No. (703) 413-2220
(OSMMN 08/03)

17. 3. 2004

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 3 年 3 月 2 8 日

REC'D 29 APR 2004

出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 3 - 0 9 2 2 8 4
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 0 9 2 2 8 4]

WIPO PCT

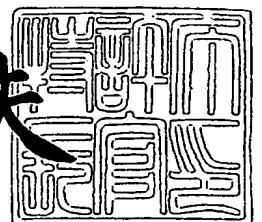
出 願 人
Applicant(s): サッポロホールディングス株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年 4 月 1 5 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 SP510-1380

【提出日】 平成15年 3月28日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 B65D 5/00
G09F 19/12
G03B 35/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 1 号 サッポロビール
株式会社内

【氏名】 柴野 邦雄

【特許出願人】

【識別番号】 000002196

【氏名又は名称】 サッポロビール株式会社

【代理人】

【識別番号】 100070150

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002989

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 立体画像を付した商品パッケージ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品パッケージを形成する少なくとも二つの面に互いに対となって立体画像を形成する画像を付したことを特徴とする商品パッケージ。

【請求項2】 商品パッケージは直方体の形状をなし、該パッケージの正面と裏面に対応する面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特徴とする請求項1の商品パッケージ。

【請求項3】 同一構造の第1第のパッケージと第2のパッケージからなり、互いに対応する所定の面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特長とする商品パッケージ。

【請求項4】 正六面体からなる6面を有する商品パッケージであって、少なくとも1対の面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特徴とする商品パッケージ。

【請求項5】 2つの外面を有する商品パッケージであって、前記2つの面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特徴とする商品パッケージ。

【請求項6】 2個の同一の対象物をカメラに対し異なる角度で対面させて2個の対象物を撮影して一枚の写真に立体画像の観察を可能とする画像を撮影することを特徴とする立体画像を観察する写真の撮影方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品を包装又は収容するパッケージするに関し、特にパッケージ外面に立体画像を観察することのできる画像を付した商品パッケージに関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に商品を販売するに際し、箱状の商品パッケージ（パッケージ）に収納して販売することが行われる。この商品パッケージは厚紙などの台紙により組立ら

れた箱状をなし、その商品パッケージは、包装される商品の保護機能や複数商品の保持機能を有する他、その外表面に包装する商品に関する適宜の模様や、マークなど表示画像が付されて商品表示機能を有するものである。これらの表示画像は、収容する商品の形態や内容物を示すものであったり、商品のイメージアップを図るための画像、或いは客の目を惹き付けるためのものであることが普通である。

【0003】

例えば、ビールや発泡酒、あるいは清涼飲料などの缶を半ダース、1ダースなど複数個を一つの商品パッケージに収容して販売することが行われる。このような商品パッケージは直方体や立方体の6面体である箱型をなしており、底面を除き、各面には種々の表示画像が印刷により付されている。この場合、各面には異なる画像を表示するか、或いは共通の画像を表示することとなるが、商品パッケージが例えば陳列される場合を考慮して、正面となるべき面が定められて、その正面に最も商品をアピールする画像を配置する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上述のように、商品パッケージには商品に関する画像や他社製品との識別力を高めるための模様などの画像を表示することが行われるが、従来の商品パッケージの外面に施される画像は、あくまでも、1個の商品パッケージについての表示機能を考慮して定められているものである。換言すると、1個の商品パッケージを観察したときに、商品パッケージとして表示機能が最大となるように考慮して、商品パッケージの各面に施す画像を決定するものであった。したがって、商品パッケージの識別能力や表示能力は、各面に付された画像そのものによって決まり、各面に付された画像自体の識別能力や表示能力に制限されるもので、それ以上の機能を持たせることは出来ないという問題がある。

【0005】

本発明は、上記問題を考慮して、商品パッケージに付される画像の機能に、従来の画像表示が持つ機能に加え、更に付加価値のある機能を与えることのできる画像表示を持つ商品パッケージを提供することを目的となされたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を以下の手段により解決した。

【0007】

本発明の請求項1の発明は、商品パッケージを形成する少なくとも二つの面に互いに対となって立体画像を形成する画像を付したことを特徴とする。

【0008】

対となる個々の画像は、それ自体、包装の表示画像としての機能を有すると共に、その対の画像を並べて配置したときは、二つの画像が観察者に立体画像を提供する。これにより、商品パッケージに新たな識別力を与え、また、商品を購入した顧客にあつては、商品パッケージを並べて配置して立体画像を楽しむことができるという従来にはない新たな機能を商品パッケージに付与することができる。

【0009】

請求項2の発明は、商品パッケージは直方体の形状をなし、該パッケージの正面と裏面に対応する面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特徴とする。商品パッケージが直方体の場合、正面と裏面に立体画像を付すことにより、商品を陳列した際に立体画像を観察させるための商品の陳列配置が容易となる。

【0010】

請求項3の発明は、同一構造の第1第のパッケージと第2のパッケージからなり、互いに対応する所定の面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特長とする。本発明においては、同一構造の2種類の商品パッケージを使用して立体画像を生成する。本発明においては、1の商品パッケージに立体画像を生成するだけの2枚の画像を付す必要がないため、他の面に付与するデザインの自由度が増す。

【0011】

請求項4の発明は、正六面体からなる6面を有する商品パッケージであつて、少なくとも1対の面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを

特徴とする。本発明においては、正六角形の三組の面にそれぞれ立体画像を生成する対の画像を付すことが可能となる。

【0012】

請求項5の発明は、2つの外面を有する商品パッケージであって、前記2つの面に互いに対となって立体画像を生成する画像を付したことを特徴とする。

【0013】

例えば、見開きタイプの商品パッケージや袋状の商品パッケージにおいては、2つの外表面を有する。この2つの面に立体画像を生成するための画像を付して立体画像を観察することのできる商品パッケージを得ることができる。

【0014】

請求項6の発明は、2個の同一の対象物をカメラに対し異なる角度で対面させて2個の対象物を撮影して一枚の写真に立体画像の観察を可能とする画像を撮影することを特徴とする立体画像を観察する写真の撮影方法である。

【0015】

本発明においては、同一の対象物を使用することにより一回の撮影で立体画像を観察することのできる写真を得ることができる。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下には本発明をより詳細に説明するために実施例を示す。

【0017】

まず、本発明の実施例の説明に先立ち、立体画像の形成の原理について説明する。

【0018】

人間の目は左右に6～7cm程度離れているため、それぞれの目には角度のずれた景色などの対象物の画像が写っている。この左右の異なった画像を脳が処理することにより対象物を立体的に認識している。立体写真（3D写真）はこの原理を応用したもので、同じ被写体を同時に二つの位置から撮影し、両目でそれぞれ別々に見て平面的な写真を立体的に見えるようにしたものである。撮影方法としては、肉眼の間隔に近い約7cm程度の間隔で二つのレンズを持つステレオカ

メラで撮影する方法や、2台の普通のカメラを約7cm間隔を置いて同時に撮るか、一台のカメラを平行移動させて2回撮影し、一つの被写体を2枚の写真に仕上げる。

【0019】

立体写真を観察する方法としては、2枚の写真を左右の視線をほぼ平行にして見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」がある。2枚の写真を上記方法により見ることで立体画像の観察が可能となるが、ビューワ等の特別の器具を使用することにより容易に観察することができる。また、ビューワなどの特別の器具を使用しなくてもある程度の訓練を行えば、立体画像として観察することが可能となる。

【0020】

図1は立体写真の観察法を説明する図で、上述の方法で撮影した2枚の写真を観察する方法を示し、(A)は平行法を、(B)は交差法を示す。図示のように、2枚の写真をならべて、平行法あるいは交差法により観察することにより立体画像の観察が可能となる。

【0021】

次に、上記立体画像技術を商品パッケージに適用した本発明の実施例について説明する。

【0022】

図2は本発明が適用される商品パッケージを説明するもので、複数の缶入り飲料を包装する簡易型の商品パッケージ1を示している。商品パッケージ1は帯状の厚紙を折って4面對の箱状容器としたもので、両側は飲料缶が露出している状態で収納されて一つの単位製品となっている。通常は、図1に示すように、配置された状態で、正面側のA面に包装される製品に関する主たる画像が施されており、この例では商品の外観を示す画像が印刷により施されている。尚、天面及び裏面にも必要に応じて適宜の模様や表示などが施される。

【0023】

図3は本発明の実施例に係る商品パッケージ10を示し、図2に示されるタイプの簡易商品パッケージに適用した例を示す。図3(a)は商品パッケージ10

を組立てる前の台紙 11 を示し、(b) は組立てられた状態を示している。

【0024】

台紙 11 は 4 つの面を形成するための 5 区画 11 a, 11 b, 11 c, 11 d を持つ。これらの 5 区画は、正面 11 a、天面 11 b、裏面 11 c、底面 11 d 及び 11 e に対応するものである。ここで、本実施例においては、正面 11 a に印刷する画像 A と裏面 11 c に印刷する画像 B に以下のような特別な関係を持たせている。

【0025】

本実施例では、正面 11 a に印刷される画像 A と裏面 11 c に印刷される画像 B は、立体画像を形成するような関係の画像とされている。図示の例では缶が示されており、これらの缶の画像 A と画像 B は、対象物である缶を、例えば、前述の一台のカメラを平行移動させて 2 回撮影する方法で得ることができる。従って一つの商品パッケージの正面と裏面には、観察者には通常は識別できない程度の差異が存在する互いに異なる画像 A と画像 B が印刷される。

【0026】

図 3 (a) に示されるような正面及び裏面に対応する位置にそれぞれ画像 A、画像 B が印刷された台紙 11 を折り曲げて (b) に示すよう商品パッケージ 10 が組み立てられる。このような正面及び裏面に画像 A、画像 B を持つ商品パッケージ 10 を 2 個、図 3 (b) のように並べて配置すると、図 1 において説明したような立体画像を形成するための一対の画像が配置される。したがって、本実施例の商品パッケージ 10 を、例えば、店舗の陳列棚に配置することにより、商品パッケージに立体画像を観察させる機能を持たせることができ、従来の表示機能に加え、新たな機能を与えることが可能となる。また、この商品パッケージを伴う商品の購入者も商品利用時に立体画像を観察して楽しむこともでき、容器の持つ宣伝効果を一層高めることができる。

【0027】

本実施例の商品パッケージ 10 は 1 個の容器に立体画像の観察を可能とする画像を正面と裏面に持たせるようにしているため、印刷を施す台紙としては 1 種類の台紙でよい。そして、1 個の商品パッケージ 100 を正面と裏面を図のように

並べて配置するだけで立体画像を楽しむことができる。

【0028】

図4は図3に示した商品パッケージの画像Aと画像Bの具体例を備えた台紙12を示す。正面に相当する区画12aと裏面に相当する区画12cに図1に例示した写真を利用したものである。

【0029】

図5は本発明の他の実施例を示す。図3及び図4に示した実施例は、1個の商品パッケージの正面と裏面に立体画像を形成するための画像を表示したものであるが、図5の実施例は、2種類の商品パッケージに付された画像により立体画像を観察できるようにした例を示す。

【0030】

本実施例の商品パッケージは、所定の面に立体画像を形成する画像を持つ1対の同一構造の商品パッケージ20及び商品パッケージ21からなる。商品パッケージ20の正面に画像Aを印刷し、対となる他方の商品パッケージ21の正面に画像Bを印刷する。この例では包装される商品の飲料壺を示す画像を印刷し、画像Aと画像Bは、前述の例で示したように、並べた配置したとき、立体画像が観察できるように作製されたものである。

【0031】

このように、同一構造の容器の対応する面に立体画像を生成するための異なる画像を表示することにより、販売店において、これらを並べて陳列することにより、上述の例と同様な立体画像を生成するという効果を創出し、商品パッケージとしての機能を高めることができる。また、これらを購入した一般顧客も商品パッケージを利用して立体画像を楽しむことができる。

【0032】

図6は本発明の他の実施例に係る商品パッケージ30を示す。本実施例による商品パッケージ30は正6面体をなし、図6(a)の台紙31に示すように、正面a、裏面b、天面c、左右側面d、e、底面fの6面を有する。そして、この6面を3組の対に分けてそれぞれの対が立体画像を生成するような画像を印刷により付している。図示の例では、正面aと裏面bを一組の対として画像Aと画像

Bを、天面cと底面dを一組の対として画像Cと画像Dを、また、両側面e、dを一組の対として画像E、Fを付している。そして、画像Aと画像B、画像Cと画像D、画像Eと画像Fは夫々図1乃至図5により説明したように、対となって立体画像を生成するような画像とされている。したがって、この6面体の商品パッケージ30によれば、図3(c)に示すように、2個の1種類の容器30を上記の対を構成するように並べて配置することにより、3種類の立体画像を生成して楽しむことが可能となる。

【0033】

図7は本発明による商品パッケージの他の実施例を示す。図7(a)に示す商品パッケージ40は見開き可能ないわゆるブックタイプのもので表紙40aと裏表紙40bの外面を備え、内容物を表紙と裏表紙の間に挟み込んで保持する種類の商品パッケージである。

【0034】

本実施例においては、この表紙40aと裏表紙40bに立体画像を生成するための対となる画像を配置する。すなわち、表紙40aには画像Aを、裏表紙40bには画像Bを配置する。そして、画像A、画像Bは図1に示した原理による立体画像を生成する関係にある画像とする。本実施例の商品パッケージ40によれば、2つの商品パッケージを、表紙側と裏表紙側を正面にして並べて配置することにより、前述の実施例と同様に立体画像を楽しむことができる。

また、図7(b)に示す商品パッケージ41は袋状のパッケージであり、同様に表裏の2面41a、41bに立体画像を生成する画像Aと画像Bを付することができる。

【0035】

ところで、立体画像を生成する対の画像は、既に説明したように、一つの物体をカメラにより異なる角度から2枚の写真を撮ることに得ることができ、従来よりこの方法による撮影が行われていた。かかる方法は、一つの被写体をカメラで2回撮影するものであるが、本発明者らは商品パッケージに印刷するための立体画像を生成する写真を得る方法として1回の撮影で得る方法を見出した。

【0036】

図8は一回の撮影で立体画像を得る方法を説明するものである。本方法は、撮影する対象物として同一の物体A、Aを2個用意する。そして、図8に示すように物体A、Aを並べ、その前方にカメラCを設置する。なお、カメラCの設置位置は任意であり、少なくとも両物体が1画面の視野内に収まるように設置すればよい。更に各物体A、AのカメラCに対する向きを個々に設定することにより2個の物体をそれぞれカメラCに対して異なる角度で対面させて並べる。この状態で、写真撮影することにより、例えば、図1に示したように一つの物体を異なる角度で撮影した2枚の画像を隣接して配置した一枚の写真を得ることができる。

【0037】

ところで、図7に示した実施例の商品パッケージの場合、対となる画像Aと画像Bは一枚の印刷紙に隣接して配置される。したがって、このような立体写真用の画像を写真撮影により得る場合には、図7に示した本発明の方法を採用することにより容易に得ることができる。

【0038】

以上本発明の好ましい実施例について詳述したが、本発明は係る特定の実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された本発明の範囲内において、種々の変形・変更が可能である。上述の立体画像を観察するための画像を写真撮影により得る実施例について説明したが、写真撮影によることなく、例えば、コンピュータ・グラフィクスなどの技術により一对の画像が形成できることは容易に理解できるところである。また、画像としては商品に関連する画像に限らず模様や抽象的絵画などあらゆる画像に適用できる。

【0039】

【発明の効果】

以上詳述したところから明らかなように、本発明による商品パッケージは、その側面に立体画像を生成するための画像を印刷しているため、立体画像を観察して楽しむことができ、商品用の商品パッケージとしての機能をより高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

立体写真の観察法を説明する図で、上述の方法で撮影した2枚の写真を観察する方法を示し、(A)は平行法を、(B)は交差法を示す。

【図2】

商品パッケージの一形態を示す図である。

【図3】

本発明の実施例の商品パッケージを示す図であり、(a)は組立前の台紙を、(b)は組立た状態の商品パッケージを示す。

【図4】

図3に示した商品パッケージの画像Aと画像Bの具体例を示す。

【図5】

本発明の他の実施例を示す図である。

【図6】

本発明の他の実施例を示す図である。

【図7】

本発明の他の実施例を示す図である。

【図8】

一回の撮影で立体画像を得る方法を説明する図である。

【符号の説明】

10、20、30、40、 商品パッケージ

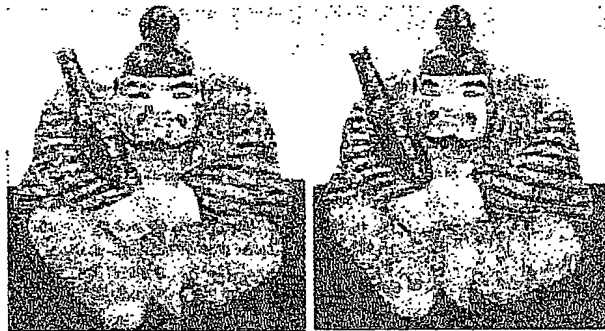
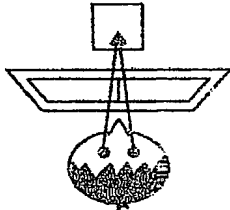
11, 12 台紙

【書類名】

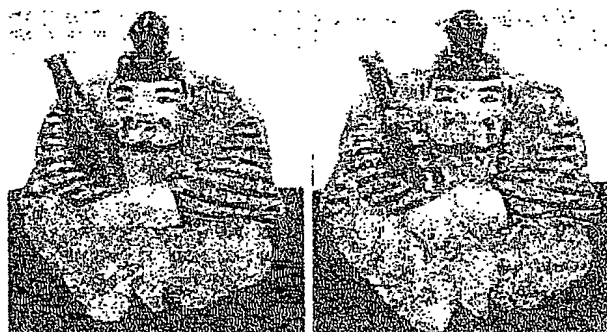
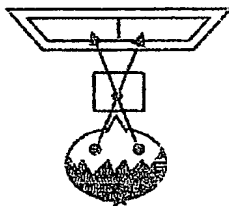
図面

【図 1】

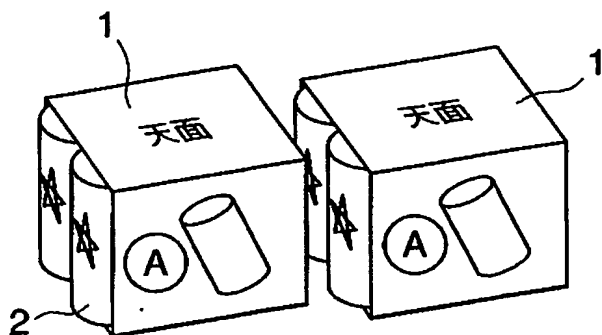
平行法(遠方にピントを合わせる方法)



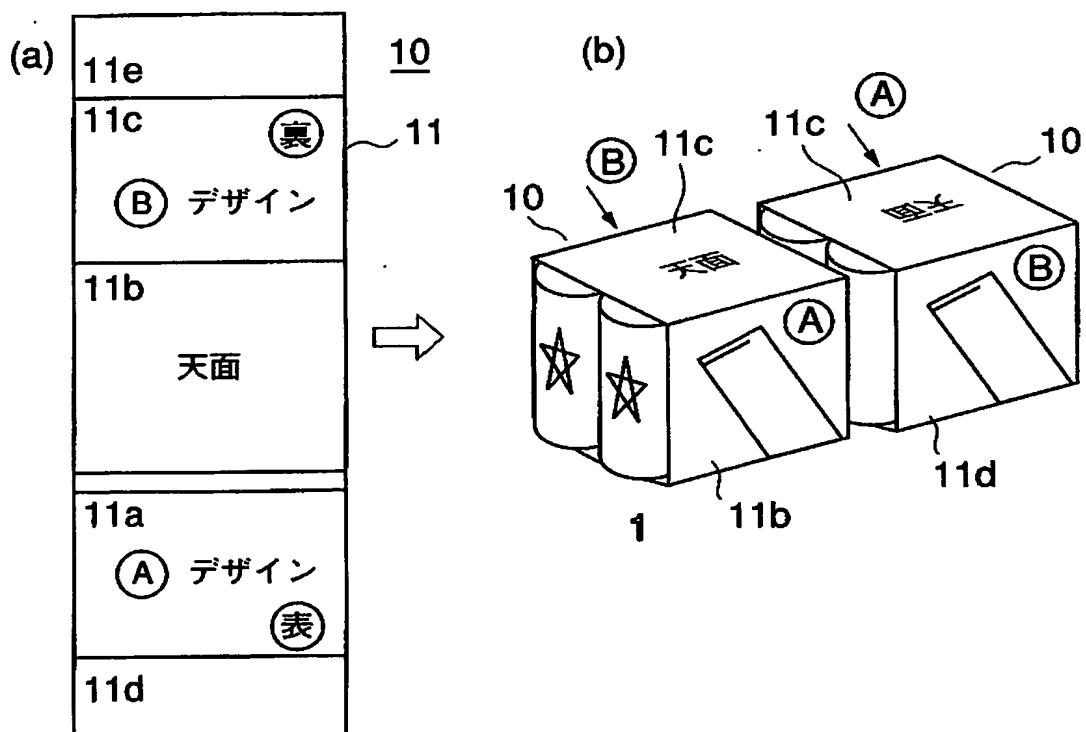
交差法(より目ピントを合わせる方法)



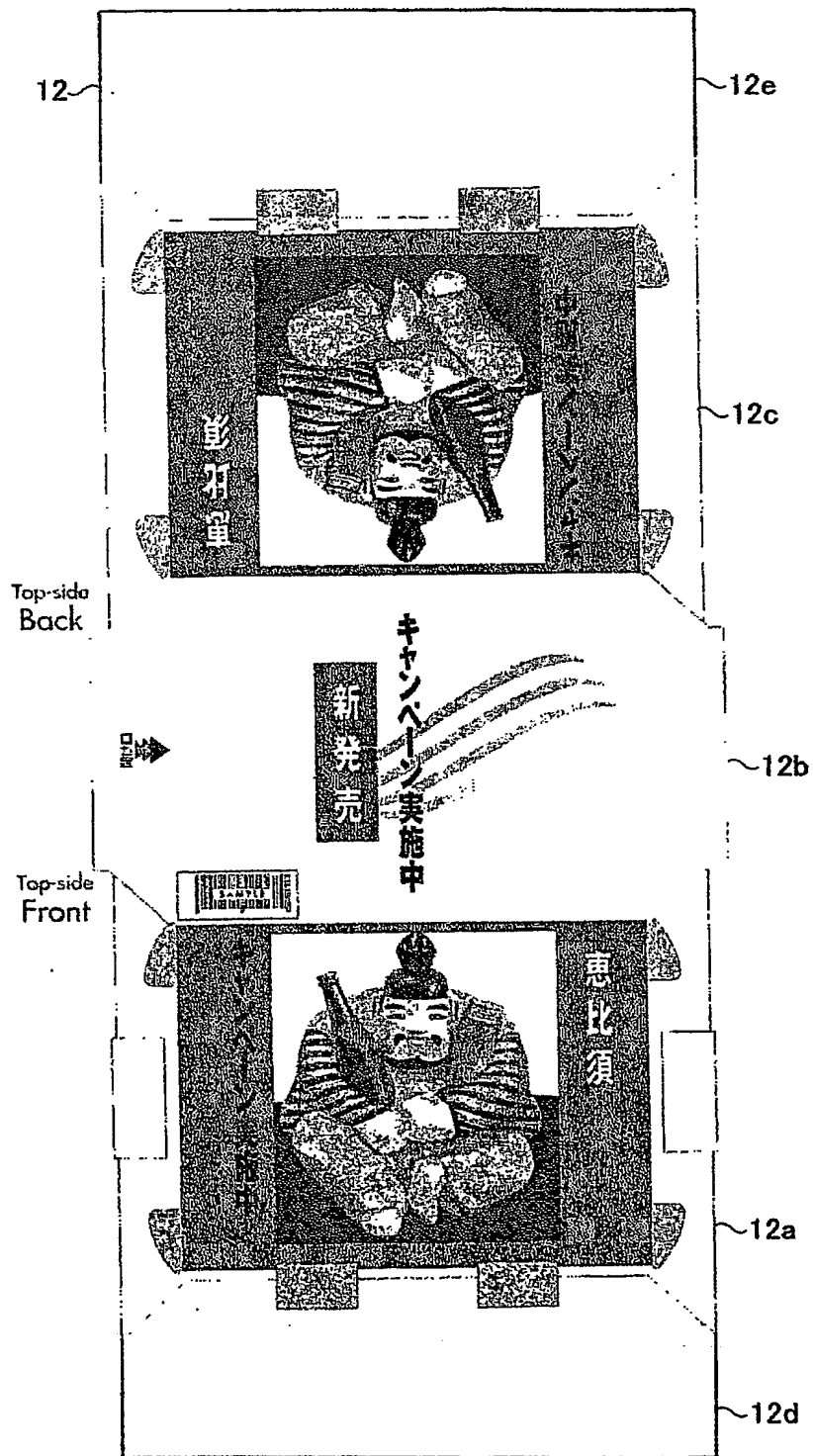
【図 2】



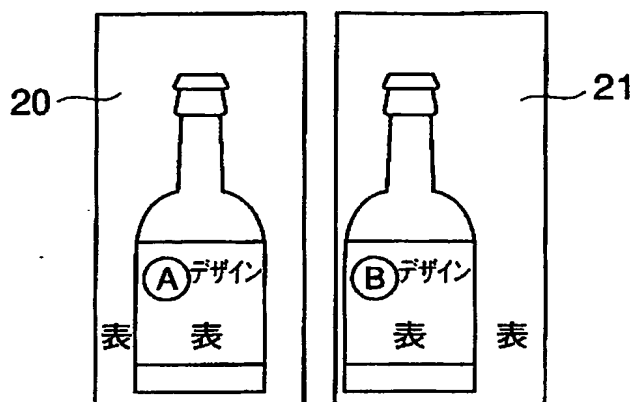
【図 3】



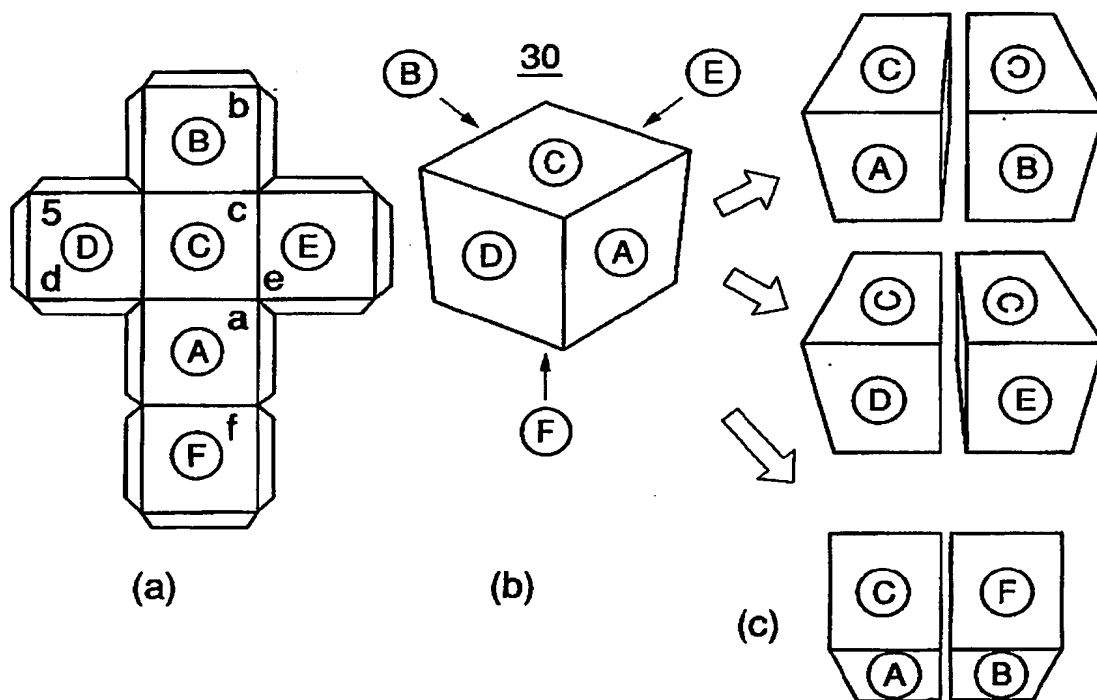
【図 4】



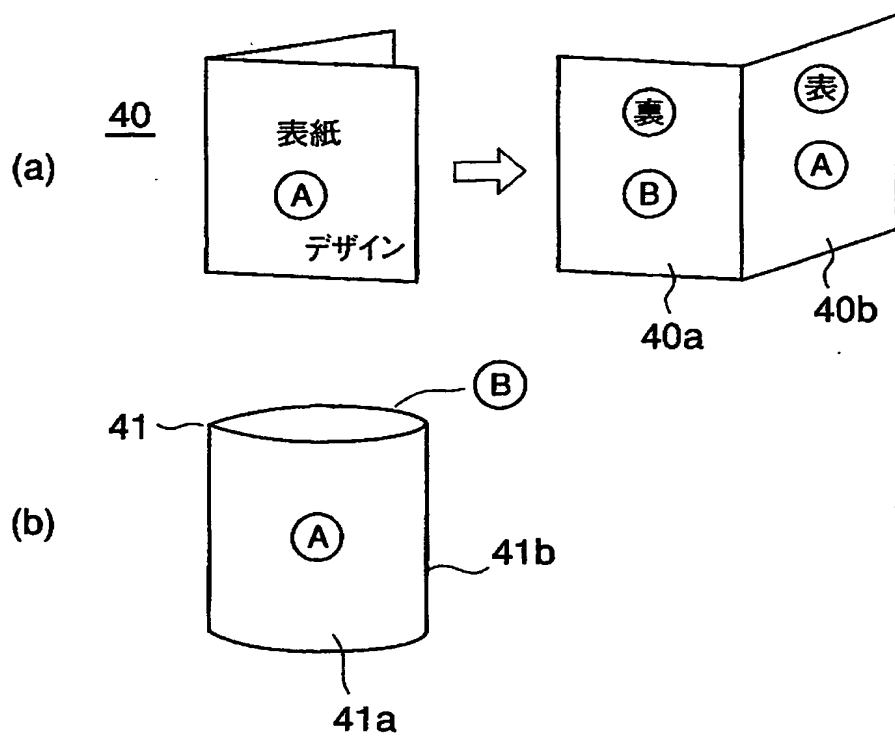
【図 5】



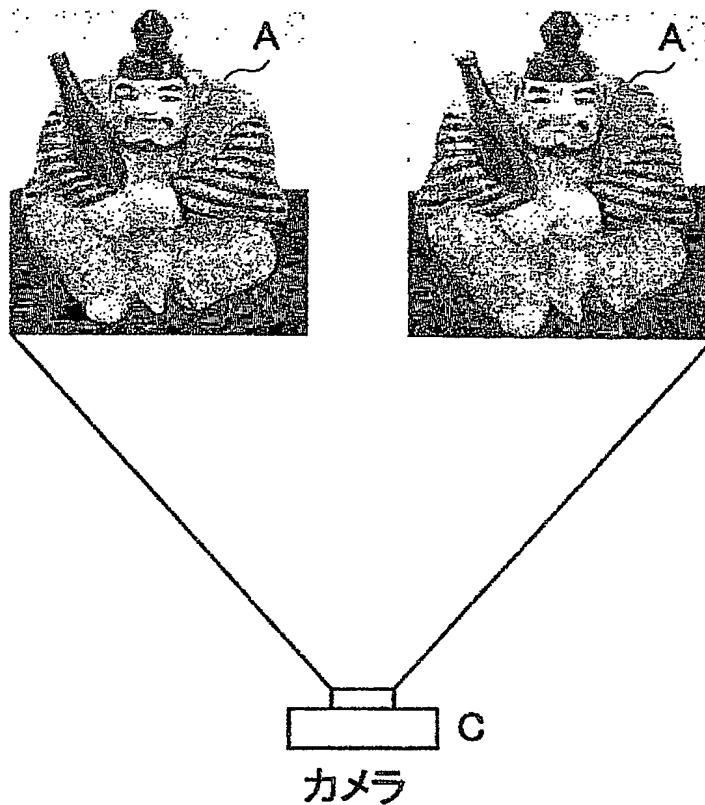
【図 6】



【図 7】



【図8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 立体画像を観察することができる商品パッケージを提供する。

【解決手段】 本発明の商品パッケージ 1 を形成する二つの面 11a, 11c に互いに対となって立体画像を形成する画像 A と画像 B を付ししている。

対となる個々の画像 A, B はその対の画像を並べて配置したときは、二つの画像が観察者に立体画像を提供する。これにより、商品パッケージに新たな識別力を与え、また、商品を購入した顧客にあっては、商品パッケージを並べて配置して立体画像を楽しむことができるという従来にはない新たな機能を商品パッケージに付与することができる。

【選択図】 図 3

特願 2003-092284

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002196]

1. 変更年月日 1994年12月22日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
氏 名 サッポロビール株式会社
2. 変更年月日 2003年 7月17日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
氏 名 サッポロホールディングス株式会社